



令和2年2月3日発行

### 暖冬、過ごしやすくはあるけれど・・・

先週、学校の近くで紅梅が咲いているのを見ました。例年、周囲よりも早く咲く木ではあるのですが、今年は一段と早い開花で春の訪れはもうすぐと思っていたら、今週は吾妻山に雪雲がかかり、冬の寒さ再来ですね。

暖かくて雪が少ないと、通学もしやすく過ごしやすいなと思ってしまいますが、冬の雪の少なさは夏場の水不足に影響を与えるので少し心配です。降ったら降ったで災害の心配があり、降らないとまた水不足で心配になる。何事もいい塩梅といきたいところですが、最近は大変なようです。

### ◇1年間の成長を確認し、2年生になる準備をしよう

| 1年生 |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 2年生 |    |    |
|-----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|----|----|
| 4月  | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月  | 5月 | 6月 |

高校に入学して11か月がたちました。2か月後には2年生になります。

1年間が終わったところで振り返り、4月から心機一転頑張るといえることが多いかと思いますが、まだ2か月あります。やり残しがあるなら、まだやる時間が残っています。これからの2か月は、4月からの2年生を少しでも良い形で始めるための準備期間として過ごしてほしいです。そこで、2か月を残したところで1年間の振り返りをしておきませんか。

- ①入学した時の「高校生の抱負」、覚えていますか？ 近づきましたか？
- ②やりたいことたくさんあったはずですが、やれましたか？
- ③高校生になって新たにできるようになったことはありますか？
- ④高校生になってできなくなったことはありますか？
- ⑤やりたいこと、やろうとしたことができなかったのはなぜですか。

できなかったことややり残したことに残り2か月の中で再挑戦し、少しでも多く達成して2年生になってください。

### ◇1年生の学習内容の振り返り

学習面でも2年生になる準備をしてください。

2年生になると英語も数学も内容が変わるだけでなく、レベルが上がります。先輩たちは、数学Ⅱは数学Ⅰより難しいと言っています。2年生になる前に、1年生の内容をしっかりと身に付けておかないと、2年生のスタートが不安ではないですか？

これからの2カ月は、比較的落ち着いて学習に取り組める時期です。『教科書をもう一度読み直したり』『問題集を解きなおしたり』して、安心して2年生の学習を始められる基礎力を身に付けておきましょう。

### ◇書初め

書道の時間に「今年の抱負」という題で書初めをしました。今、教室に貼ってありますが、みなさんの今年にける意気込みが感じられます。この気持ちを忘れないこと、行動に移すことを心がけてぜひ頑張れ、実りある一年にしましょう。



### ◇2月の予定

|            |                     |                      |       |
|------------|---------------------|----------------------|-------|
| 2月 1日 (土)  | サタスタ                | 2月 29日 (土)           | 卒業式予行 |
| 2月 8日 (土)  | 模擬試験 (河合塾)          | 3月 1日 (日)            | 卒業式   |
| 2月 15日 (土) | サタスタ                | 3月 2日 (月)            | 代休    |
| 2月 22日 (土) | 定期考査前の学校開放<br>(学習会) | 3月 3日 (火)<br>～6日 (金) | 学年末考査 |

#### ◆保護者の皆様へ◆

- ・2年生になる前に進路に向けて大きな目標を立てることはできています。次は、その実現に向けて、進学先の詳細を決めたり、受験科目を調べたりと続きます。そして、最も重要でかつ難しいのが、受験に向けて、日々の学習で力を付けることです。進路の話同様、家庭学習についてもご家庭で話をしていただきたいと思います。
- ・3月19日 (金) 13時30分から学年末の学級懇談会を行います。後日、連絡文書をお届けしますのでご来校いただけますようお願いいたします。

## ◇気づき

中学1年生の時、担任の先生が道德の授業で、私たちにこんな質問をしました。

「今からAとBの2人の人間を演じるから、みんなはどちらの方がいいかを考えてみてくれ。」  
すると先生は近くにあったプリントをクシャクシャと丸め、床に落としました。「これがゴミだでしょう」、そう言って先生が演じたAの人間は、その“ゴミ”に気付かずに横を通り過ぎました。次に先生が演じたBの人間は、その“ゴミ”をチラッと見たにも関わらず、気づかないふりをして横を通り過ぎました。

大半の生徒たちが、「気づいたのに拾わなかったんだから、Bの方が悪い。気づかなかっただけだからAはいいと思う」と答えました。先生は、「本当にそうかな。俺はAの方が悪いと思う。」と言いました。生徒たちからは、「えー、どうしてー」と不満の声。すると、「だってBは、気づいたんだから。Aは気づきもしなかった。確かに気づいたのに行動に起こさなかったのは悪いことだけど、気づかないことはもっとダメだと俺は思う。中学校ではクラスメイトや先輩たち、先生方と関わる機会が増えます。周りの人や環境のちょっとした変化に、まずは気づくことのできる人間になってください。そして最初は難しいかもしれないけど、気づいたら勇気を出して行動できる人間に少しずつなっていこう。」先生がそうおっしゃって、その授業は終わりました。

皆さんはどう思いますか？

その授業からもう15年程経ちますが、今なら先生が言いたかったことがよくわかります。皆さんの日々の様子を見てみると、「気づいて行動する」ができている人ももちろんいますが、まだAの人もBの人もいます。自分1人だけで生活していくのなら、気づかなくても、行動しなくてもいいでしょう。でも、学校は集団生活の場です。例えばクラスメイトに元気がないとき、それに気づいて声をかけられていますか？みんなが静かに勉強しているときにそれに気づかず、大声で話して雰囲気を壊していませんか？その人たちを「うるさいなあ」と思ったら、「静かにしよう」と注意できていますか？誰かの消しゴムが落ちているのを、そのまま放置していませんか？

確かに、自分のことで精一杯になってしまうこともあるでしょう。でも、みんなは3年間共に生活していく仲間です。先生たちもそうです。仲間の様子や自分たちが生活する場所やその雰囲気の変化にまずは気づく努力をしてください。そして気づいたらお互いに声を掛け合ってください。そのような小さなコミュニケーションが、少しずつより良い集団を作り上げていくと思います。気づいているけどやらないはナシにしていきましょう。

「先生が話してるから静かにしよう」でも、「後ろからシャツ出てるよ」でもいいです。みんながより良い集団になれるよう、一人一人が“気づき”と“行動”を心がけて生活しましょう。

（5組担任）

気づきを妨げる4つの敵 = 「無関心、利己心、認識不足、想像力の欠如」

気づきを助ける習慣 = 「注意深い生活」